

令和2年高圧ガス事故（人身事故）について

No.	発生日	事象	自治体	罹災者		ガス種	概 要	原 因
				死亡者	負傷者			
1	9/17	火災	大分県	0	1	LPG	腐食した高圧ガス容器に穴を開けてくず化を試みた。バッテリー駆動のドリルを容器背面上部の最も腐食した部分にあてた際、数秒でこぶし大の炎が揺らめくように発生したため、周囲の深く繁茂した雑草に押しつけて消火しようと転倒させると炎はジェット状となり、新たに穴が発生した。再び容器を起こそうとしたとき、火傷を負った。その後消火器で消火。	誤操作、 誤判断
2	10/23	火災	北九州市	0	1	アセチレン	当該事業所の作業員1人が、スチール製の棚の製作過程でアセチレンボンベのバルブは開放したまま、溶断作業を中断し、スチール製の棚の溶接線の表面を電動サンダーで削り取る作業に移った。製作中の棚を方向転換し、再び、削り取る作業を開始しようとした時にアセチレンボンベの圧力調整器付近から火炎が上がっているのを発見した。作業員は直ちに消火器で消火作業を試みたが火が消えないため、すぐにボンベのバルブを閉鎖しようとしたが、吹き上がった炎を顔に受け、バルブ操作を断念した。その後、119番通報し、消防隊によって消火された。	誤操作、 誤判断、 操作基準 等の不備

3	11/13	爆発	宮崎県	0	3	LPG	LPG バーナーを使用して「焼豆腐」に焼き目を付ける作業中に、ガスバーナーの火力が弱いと感じた作業員が、火力を増強させようと LPG ボンベを熱湯中に浸漬した。その後、ガス噴出音が生じたため、作業員がガスボンベを熱湯から取り出し、火元のバーナーから距離を取り、元栓を閉めたが間に合わずに爆発した。直ちに消防署に通報し、3名が緊急搬送された。	誤操作
4	12/18	漏えい	北九州市	0	1	LPG	他事業所が所有するバルクローリーへ払出し準備中（充てん所側液送ポンプは稼働前）において、充てんホースをバルクローリー側へ結合し、液取入れ弁を開放したところ、充てんホースが外れ LPG が噴出した。作業員1名が当該バルブを閉止しようとしたところ、全身に LPG を浴び被災した。なお、バルクローリーバルブボックス内のガス検知器が作動したため、緊急遮断弁が閉止し、漏えいは停止した。	認知確認ミス、締結管理不良

最近 10 年間の人身事故

	2011 年	2012 年	2013 年	2014 年	2015 年	2016 年	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年
死亡者数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
負傷者数	9	0	5	23	12	8	7	5	6	6
事故件数	4	0	4	4	7	5	5	3	5	4